



力作の2020年ちぎり絵カレンダーをPRする
支援員と利用者

みんなで作りました

室蘭・日中活動センターげんせん

ちぎり絵カレンダー販売

生活介護とB型事業所の2事業を行う日中活動センターげんせん（室蘭市母恋北町）の利用者が日々取り組んでいるちぎり絵作品を収めた2020年カレンダーが完成した。併設のカフェでとてで販売しており、「ぜひ手に取ってほしい」と力作をPRしている。

同センターの生活介護は、障害のある18歳～70代の40人が利用。職員の企画で、手先の訓練も兼ねて余暇活動としてちぎり絵に取り組む。絵本の読み聞かせ

で親しみ深いイソップ童話を題材に、1枚の絵を18分割し、色紙をちぎってはのり付け。縦約1・2センチ、横約1・7センチの作品を年8、9点制作している。

「大作を埋めれさせるのはもったいない」（斎藤健一センター長）と、赤い羽根共同募金の助成を受けて制作。一般にも販売し、益金は利用者に還元するという。

表紙は利用者の川村義隆さんの文字が飾った。ちぎり絵のうち「ロバを売りに

行く親子」は利用者に人気の話で、完成時の喜びが大きかったという。生活支援員の内竹歩美さん、副主任の桜井聖子さんは「みんなが根気よく仕上げました。多くの方の目に触れてほしい」とPRしている。

カレンダーは一部千円。とての商品が2割引になるクーポン付き。とては平日の午前10時～午後4時。詳細は同センター、電話0143・23局0520番へ。

（粟島晴浩）